

個性あふれる子どもたちを笑顔にする そんな魔法(コツ)を教えちゃいます！

話を聞かない子、輪に入れない子、暴言を吐く子…。子どもの対応に困ったことはありませんか？

そんな子どもたちを笑顔にするコツを、芸人と県職員による寸劇を交えながら、ショートムービー（5分程度）で面白くご紹介いたします。子どもと接する方、必見です。

動画「指導者必見！！～子どもの注目を集めたい！～」

内容：

念願だった折り紙教室の講師をさせてもらうことになりウキウキの新米指導員。ところが当日、いざ話を始めようとしても、子どもたちのおしゃべりがとまらず、話を全く聞いてくれない。子どもたちの笑顔を期待していた新米指導員は思わず「こんなはずじゃなかったのに…」と落ち込んでしまう。

でも実は、導入であるテクニックを使うだけで、子

どもたちの態度はがらっと変わるんです。話を聞かない子どもたちの気を引き、注目させるその方法とは！？

他にも、みんなの輪に入れない子どもや暴言を吐く子どもなど、場面ごとに全4編で解説！！

出演者：アホマイルド坂本（芸人）

県職員（俳優は初挑戦ですが、体当たりで頑張りました）



↓動画はこちらから↓（かなチャンTVのページに移動します）

http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/1197/ktv/detail.html?id=Aa0cM1Zr72A&playlist=PLPIkJllkivHYp1ID1GgbpOTv9dcE_7yBU



今さら聞けない 知ってた？ 少年補導員編

少年補導員とは、少年の非行防止と健全育成のための活動をするため、警察署長から委嘱を受けた少年警察ボランティア*の一員になります。

県内では、1,500人の少年補導員が活躍されています。

少年補導員は、街頭補導活動や環境美化活動等の少年の社会参加活動のほか、酒、たばこ等の販売店に対する年齢確認徹底の要請など、有害環境の浄化に取り組んでいます。



街頭補導活動中の少年補導員

また、少年補導員一人一人に担当する学校（小・中・高等学校）を指定する学校担当制により、学区を単位とした非行防

止教室やサイバー教室、登下校時の見守り活動などを行っています。

警察と少年補導員等の少年警察ボランティア、学校関係者等が連携し、街頭補導活動や見守り活動を充実させ、非行や被害に至る前の段階で助言・指導することにより、非行と犯罪被害の未然防止を図っています。

（※少年警察ボランティアとは、神奈川県公安委員会が委嘱する少年指導委員、警察本部長が委嘱する被害少年カウンセリングアドバイザー、生活安全部長が委嘱する被害少年サポーター、少年育成課長が委嘱する大学生少年サポーター及び警察署長が委嘱する少年補導員をいいます。）

第61号では、青少年指導員とともに地域で活躍されている少年補導員を紹介させていただきました。次号をお楽しみに！！